令和７年度 決算の概要

持続可能な自治体経営への更なる改善
市民福祉の更なる増進

市民サービスや各種事業などの財源は、市税によって支えられています

納めていただいた市税がどのように使われているかなど、財政に関する事項の理解を深めていただくため、令和７年度の決算概要および令和８年度上半期（４月１日～９月30日）の状況を公表します。

なお、令和７年度の決算書および主要な施策の成果に関する説明書・基金の運用状況に関する調書は、市ホームページで公開しているほか、情報公開コーナーや図書館本館で閲覧できます。冊子版の決算書は会計課（市役所第二庁舎１階）、主要な施策の成果に関する説明書・基金の運用状況に関する調書は財政課で販売しています。

問財政課財政係（市役所本庁舎２階☎042-387-9802）

財政状況や実施した主な事業の概要はこちら

一般会計

歳　入

根幹となる市税および都支出金等が増となった一方、市債および特別交付金等が減となりました。そのため、歳入総額は前年度決算額を下回り、財政調整基金の大幅な取り崩し等に頼った運営となり、厳しい財政状況が続いています。

歳　出

東小金井駅北口土地区画整理事業を推進するとともに、武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業においては、再開発組合が設立され、既存建物解体工事が着工されました。

学習環境の整備では、市立小・中学校給食費の無償化、教育用タブレット端末の更新、さまざまな理由で学校に通いづらい状況にある児童・生徒が登校しやすく、安心して学校生活を送ることができる校内別室指導を実施しました。

福祉と健康の分野では、重層的支援体制整備事業を開始し、制度の狭間にある複合化した課題を多機関が連携して支援する体制を整備したほか、認知症の人や家族等の声を聴き地域で必要な施策を実施するため、認知症のある人の社会参加推進事業を実施しました。

当初予算	524億円
補正予算（全11回）	79億6,613万２千円
繰越事業費繰越財源充当額	２億4,987万６千円
総額	606億1,600万８千円
歳入決算額	595億7,268万４千円 （対前年度比0.3%減）
歳出決算額	566億5,129万９千円 （対前年度比1.1%減）

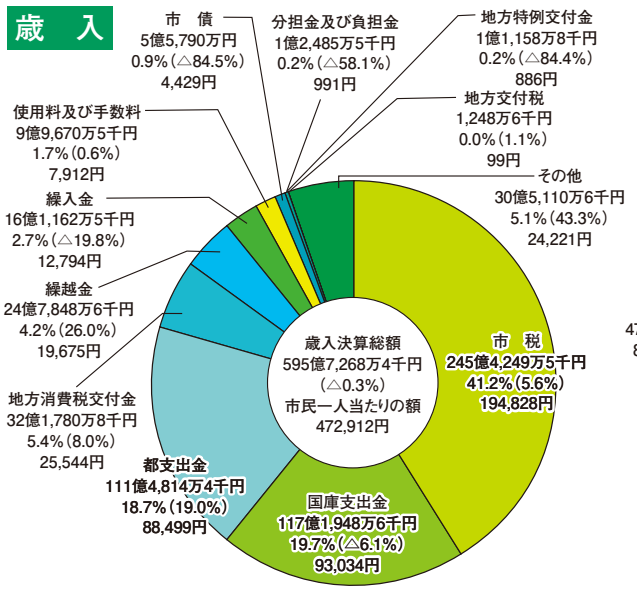
形式収支	29億2,138万５千円
実質収支	26億3,932万７千円
実質収支比率	9.9%
人件費比率	13.1% （対前年度比0.9ポイント増）
経常収支比率	94.6% （対前年度比0.4ポイント増）

一般会計決算状況

人口　125,970人
（令和8年1月1日現在）

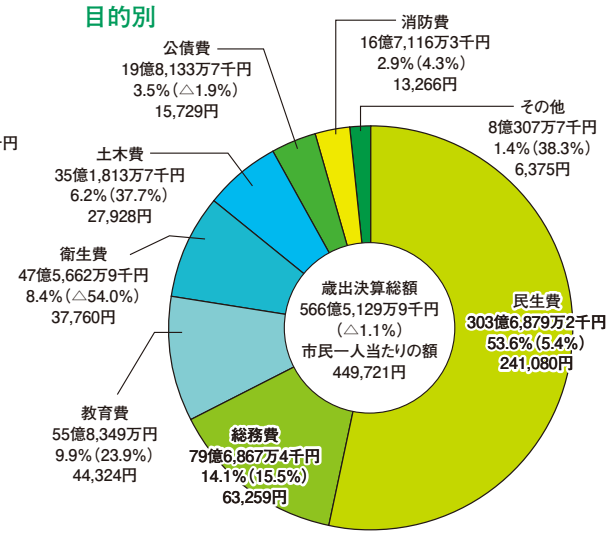
歳入歳出決算額
%は、歳入歳出決算総額に対する比率
（　）内は、前年度に対する増減率
市民一人当たりの額

歳　入



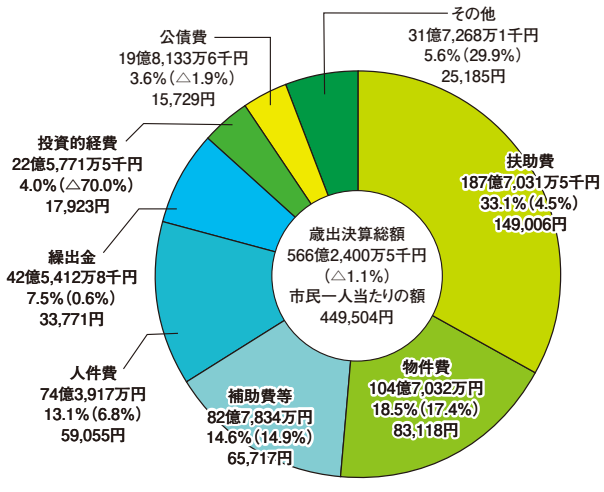
歳　出

目的別



性質別（普通会計）：地方財政状況調査による

※国で定めた基準（普通会計）で算出しているため、一般会計決算額とは異なります



特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療）および公営企業会計

特別会計決算状況

区　分	当初予算額	補正予算額	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
国民健康保険	112億1,714万９千円	１億6,413万８千円	113億8,128万７千円	109億7,328万４千円	107億7,454万１千円	１億9,874万３千円
介護保険	94億9,072万２千円	３億3,468万８千円	98億2,541万円	98億5,555万５千円	97億5,525万６千円	１億29万９千円
後期高齢者医療	33億5,972万２千円	１億4,883万１千円	35億855万３千円	34億9,829万３千円	34億4,177万６千円	5,651万７千円
合　計	240億6,759万３千円	６億4,765万７千円	247億1,525万円	243億2,713万２千円	239億7,157万３千円	３億5,555万９千円

公営企業会計決算状況（下水道事業）

	予算額	決算額
収　入	20億2,198万３千円	19億8,601万３千円
支　出	23億3,078万９千円	21億2,860万５千円

時日時 所場所 内内容 講講師 演出演・演奏 対対象 定定員 ¥費用 持持ち物 申申し込み 問問い合わせ 他その他 HPホームページ ✉Eメール